

第6回定時総会

6月6日(火)、中経連は第6回定時総会を名古屋市内にて開催し、会員約250名が出席した。

豊田会長開会挨拶



昨年6月、会長に就任して以降、私は繰り返し「変化のスピードをあげていきたい」と訴えてまいりました。

就任挨拶では、世界は、人・モノ・カネ・情報が国境を越えて駆け巡り、猛スピードで変化しており、ICTや人工知能の進歩が、これを一層加速している。世界の変化に先んじて、企業も大学も行政も素早く、積極的に自らを変えていかなければならないと訴えました。

一方で、国内においては、地域経済の疲弊、首都圏への人口流出などの問題を抱えており、次世代を担う産業や人材の育成、魅力ある地域づくりを目指して、スピード感を持って具体策を実行していく必要があるとお話しました。

全国的に見て、中部経済は比較的堅調と言われておりますが、IoT・ロボット等の技術の進展、地域の創生、深刻な人手不足、スーパーメガリージョンの形成等、当地域が直面する新たな課題への対応なしに、中部圏の持続的成長はないと思います。

こうした中部経済をとりまく環境認識を、この一年間、中経連会員の皆様との意見交換や地域行政の皆様との議論の中で、さらに強めてまいりました。

また、この一年は、主要国で政権交代が相次ぎました。先日イタリアで開催されたG7サミットでは、4カ国の首脳が伊勢志摩サミットから入れ替わり、米国の主張により自由貿易を巡る意見調整は難航しました。輸出が大きなウェイトを占める中部経済にとって、こうした世界の政治情勢の大きな変化も、影響が憂慮される点であります。

このような中、副会長の皆様と議論を重ね、地域の会員の皆様からのご意見を伺い、このたび5年ぶりとなる「委員会の見直し」を実施しました。

中経連活動の「選択と集中」を図り、18あった委員会などの組織を12委員会に集約し、重点分野として「地域産業活性化委員会」「イノベーション委員会」「広域連携・地域づくり委員会」「国際委員会」を設置するとともに、「観光委員会」「人材育成委員会」の機能を強化いたしました。

このうち特に、中部5県を構成するそれぞれの地域の活性化については、この時期に中経連会長をお受けしている「私の役目」と感じております。

これには、「地域産業活性化委員会」と「地域会員懇談会」が連携を深め、課題把握やニーズの掘り起こしを行い、中堅・中小企業を含めた地域産業の底上げに取り組んでまいります。

本日より会長就任2年目となります。各委員会は4月から始動しておりますが、委員長を務めていただく副会長の皆様のリーダーシップのもと、12ある委員会の活動を大いに活性化させたいと考えております。

活発に議論を交わし、各委員会の間でしっかりと連携をとり、そこから経済成長につながる具体的行動に移したいと思います。

経済界自らが、「まず声をあげる」こと、「とにかく動く」ことを基本姿勢とし、スピード感を持って着実に活動を進めてまいりますので、会員の皆様におかれては、是非、積極的に委員会にご参加いただき、活動を支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

そしてもう一つ、私からのお願いですが、経済界自ら動く、その力をより大きいものとするため、中経

連の会員を是非とも増やしていきたいと考えております。

本日ご出席の皆様におかれましても、お知り合いの企業・団体等、中経連の活動趣旨にご賛同いただける方々をご紹介いただき、この地域の活動をますます盛り上げていただきますよう、お願い申し上げます。

定時総会概要

定時総会の議事では、「平成28年度事業報告および付属明細書」「平成29年度事業計画書および平成29年度収支予算書」について報告を行った。また、「平成28年度決算等(案)」「理事20名選任」「監事4名選任」「定款の一部変更*」について審議し、原案どおり承認された。

*: 定款第1条、一般社団法人中部経済連合会の英文名「Chubu Economic Federation」を「Central Japan Economic Federation」に変更。

議事終了後、副会長を務められた花岡清二氏、監事を務められた平間久顕氏に謝意を表明した。また、新しく就任される碓井稔副会長、富田克典監事、事務局役員の大栗原大介理事の紹介を行った。さらに、本定時総会をもって評議員会議長を退任さ

れ顧問に就任される須田寛氏に謝意を表明した。

定時総会に引き続き、第23回理事会、記念講演会、会員交流会を開催した。記念講演会では、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)シニアフェロー 宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系 教授の川口淳一郎氏より、イノベーションへの挑戦や創造力豊かな人材育成の必要性についてご講演いただいた。



ご講演いただいた川口淳一郎氏

(総務部 亀井 勝彦)



新役員紹介

(役職名は平成29年6月6日時点、敬称略)

会 長	豊田 鐵郎	(株)豊田自動織機 取締役会長
副 会 長	中西 勝則	(株)静岡銀行 取締役頭取
	山浦 愛幸	(株)八十二銀行 取締役会長
	上田 豪	(株)百五銀行 代表取締役会長
	中村 捷二	中部ガス(株) 代表取締役会長
	水野 明久	中部電力(株) 代表取締役会長
	佐々木 眞一	トヨタ自動車(株) 顧問・技監
	小川 謙	日本トランスシティ(株) 代表取締役社長
	竹中 裕紀	イビデン(株) 代表取締役社長
	柘植 康英	東海旅客鉄道(株) 代表取締役社長
	村瀬 幸雄	(株)十六銀行 取締役頭取
	安藤 隆司	名古屋鉄道(株) 代表取締役社長
	大島 卓	日本ガイシ(株) 代表取締役社長
	山名 毅彦	(株)三菱東京UFJ銀行 取締役副頭取
	中田 卓也	ヤマハ(株) 代表取締役社長
	碓井 稔	セイコーエプソン(株) 代表取締役社長
理 事	今井 正	新日鐵住金(株) 執行役員名古屋製鐵所長
監 事	伊藤 卓志	NDS(株) 代表取締役社長
	大津 正己	川北電気工業(株) 代表取締役社長
	森本 審	(株)名古屋観光ホテル 代表取締役社長
	富田 克典	(株)みずほ銀行 常務執行役員
事務局役員	小川 正樹	専務理事
	藤原 啓税	常務理事事務局長
	栗原 大介	常務理事

一般社団法人中央日本総合観光機構 会員総会・お披露目式

東海・北陸・信州9県の官民が連携して観光地経営に取り組む「(一社)中央日本総合観光機構」が発足し、5月26日(金)、名古屋城本丸御殿の玄関一之間・二之間にて会員総会・お披露目式が開催された。行政、民間、関係団体等から約110名が出席した。



(一社)中央日本総合観光機構(以下、機構)は、昇龍道プロジェクトの事務局をはじめ9県による広域観光振興に取り組んできた中部広域観光推進協議会を発展的に改組(同協議会は同日付で解散)したDMO法人である。

会員総会では、理事・監事の選任が議決され、会長(最高経営責任者CEO)に豊田中経連会長、副会長に久和北経連会長、最高執行責任者COOに英国政府観光庁の日本・韓国代表を務めたアシュリー・ハーヴィー氏が就いた。また、欧米メディアとの関係構築を目的とした現地でのセミナー開催や、デジタルチャネルを活用した情報発信の強化等、平成29年度の事業計画が承認された。

引き続き開催されたお披露目式において、豊田会長は「欧米、アジア、国内でバランスの取れた誘客を図っていく。9県が一つにまとまり、『中央日本・

セントラルジャパン』を世界に通じる観光ブランドに育てていきたい」と抱負を述べるとともに「魅力ある観光資源はまだ沢山眠っている。皆様と一緒に頑張って発掘し、磨き上げていきたい」と会員への協力を呼びかけた。また、ハーヴィーCOOからは、観光関連事業者等ステークホルダーとのパートナーシップ強化をはじめとする機構のビジョンや活動の方向性に関するプレゼンテーションが行われた。その他、同機構の成功・発展を願い、大村愛知県知事、河村名古屋市長をはじめ多数の来賓による祝辞や、女義太夫や日本舞踊のパフォーマンスも実施された。

総会・お披露目式の終了後には、名古屋城天守閣前の広場にて懇親会が開催され、機構の発足を祝して鏡開きが行われた。

(企画部 高井 勇輔)

愛知県との懇談会

5月31日(水)、中経連は愛知県との懇談会を開催し、双方の今年度の事業計画に関する情報共有、意見交換を行った。愛知県からは大村知事、森岡副知事、中西副知事、堀井副知事、石原副知事をはじめ13名、中経連からは豊田会長、須田評議員会議長、佐々木副会長、安藤副会長、山名副会長をはじめ8名が参加した。懇談概要は以下のとおり。

豊田会長は、イノベーション力の強化、地域産業の活性化、広域的な地域づくりなどの重点課題についてスピード感をもって推進していくことを説明した。また、愛知県の自然、文化、農水産物など魅力的な資源を国内外にアピールすることが中部圏の活性化につながると述べた。

大村知事は、名古屋駅のスーパーターミナル化に向けた名古屋市との連携、二本目滑走路をはじめとした中部国際空港の機能強化などのインフラ整備、航空宇宙やロボット産業の振興、産業を支える人材の育成などの取り組みについて述べられた。

その後、自由懇談に移り、経営の多角化や多能



工化などサービス産業の生産性向上、旅館の稼働率の向上や多様な担い手の参画などによる観光の振興、若者が住みたいと思える魅力あるまちづくりなどについて幅広く意見交換を行った。

(企画部 岡戸 信之)

セントレアに12年ぶりの カナダ・バンクーバー線が復活!

航空会社:エア・カナダ ルージュ 期間:6月2日~10月27日

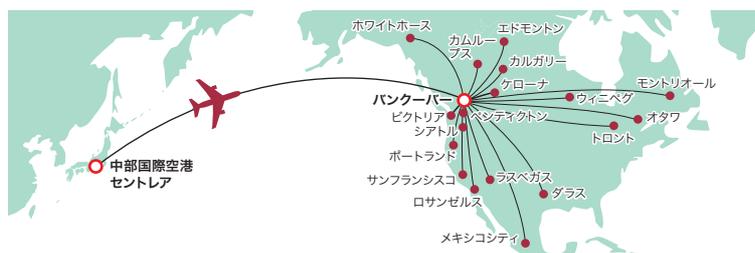
カナダ各都市へのアクセスが便利に!

西海岸を中心とした米国へのアクセスも向上!

同日乗り継ぎなら、アメリカの入国審査もバンクーバーで完了!



便名	路線	定刻	運航日
AC1956	中部 - バンクーバー	16:40 - 09:55	火・水・金・日 (火=6/20~9/26)
AC1955	バンクーバー - 中部	12:45 - +15:15	月・火・木・土 (月=6/19~9/25)



AC1956を利用した
米国への乗り継ぎ例

シアトルなら 13:50着 所要13時間10分
ロサンゼルスなら 13:57着 所要13時間17分
ダラスなら 19:05着 所要16時間25分



詳しくはエア・カナダHPをご覧ください

<https://www.aircanada.jp/rouge/NGO/>